

令和2年10月6日

静岡県知事 川勝平太 様  
静岡県教育長 木苗直秀 様

ふじのくに県民クラブ  
会 長 阿部 卓也  
政調会長 山崎真之輔



## 「万全の備えが必要な寒季に向けて」 新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書

県はこれまで、幾度にわたる補正予算を編成・執行し、新型コロナ対策を進めてこられました。加えて、県民や関係各位のご努力により、ここしばらくの感染状況は落ち着きを取り戻しつつあります。しかし、ヨーロッパ等での感染再拡大や経済再始動に舵を切った国内環境を鑑みれば、これから訪れる寒季に向けての万全の備えが欠かせません。

そこで、引き続き切れ目のない対策を施す必要があると考え、下記の通り緊急要望を提言しますので、何卒ご対応下さいますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 適切かつ具体的な情報発信について

##### ○インフルエンザの流行に伴う情報の交通整理

- ・ インフルエンザか新型コロナか等、判断が難しい際の取るべき行動について県民に分かりやすく伝えること
- ・ ワクチン接種が必要な方には、早目の予約を呼びかけること

##### ○継続的な感染防止意識の向上啓発

- ・ 長引くコロナ禍の慣れが感染拡大に繋がらないよう、常に警鐘を鳴らすこと
- ・ 各種団体、業種ごとのガイドラインを再度徹底するよう促すこと

##### ○その他

- ・ 実際に起きている誹謗中傷の具体例を紹介し、「STOP! 誹謗中傷」キャンペーンの輪を大きく広げること
- ・ 過剰な出控えが心身の衰えのリスクになることを発信し、高齢者の健康維持促進策を展開すること

## 2. 感染再拡大の防止策について

- 「いつでも、誰でも、何度でも」の検査体制の早期実現
  - ・ 抗原定量検査を含めた検査体制充実を迅速に進めること
  - ・ PCR検査が可能な民間施設の情報も提供すること
  
- インフルエンザに関連する対策の実施
  - ・ 医師会等と連携し、インフルエンザでも新型コロナでも適切に対応できる体制構築を急ぐこと
  - ・ 新型コロナの診察や検査可能な医療機関の間で情報共有ができる体制を構築すること
  - ・ 県内で差が生じないように、ワクチン接種の県助成制度を検討すること
  
- 衛生資器材の確保と充足
  - ・ アルコール消毒液等の不足しがちな医療的ケア児等の状況を常に把握し、随時配布すること
  - ・ 医療関係施設には、サージカルマスクを配布すること

## 3. 地域と雇用を守る経済対策の充実について

- 観光業や飲食業に対する支援
  - ・ 閑散期となる冬に、団体バス旅行助成や消費喚起キャンペーン等を展開すること
  - ・ 観光施設や飲食店などに県独自の認証制度を創設し、積極支援を行うこと
  - ・ こうした場所に知事自ら訪問し、効果的なPRをすること
  
- 製造業に対する支援
  - ・ 製造業の安全対策に要する設備投資の補助制度を作るとともに、感染防止を助言できるアドバイザー等を派遣すること
  - ・ サプライチェーン確保のため、事業承継を支援する体制を強化すること
  - ・ 外国人労働者向けに、企業内日本語教育への支援を行うこと
  
- 雇用のマッチングの促進
  - ・ 介護や福祉、流通サービス、交通運輸といった人材不足の業種のマッチング支援を促進すること

#### 4. 教育環境の支援について

##### ○現場の実情に応じた補助員等の柔軟な運用

- ・ 任用が多岐に渡り事務量が増加しているため、事務の負担軽減策を講じること
- ・ 養護教員が本来対応すべき業務を整理し、児童・生徒の養護に費やせる十分な時間を確保すること
- ・ スクール・サポート・スタッフの配置時間を引き続き確保すること
- ・ 消毒作業やトイレ清掃などの作業員を確保すること

##### ○学校で実施する感染防止対策の後押し

- ・ 消毒液等を購入するための予算措置をとること
- ・ 保健室内での必要な機材を購入するための予算措置をとること
- ・ 歌唱活動や集団行動、給食等における消毒や手洗いの仕方など、正しい感染予防行動についての知識を再度徹底すること
- ・ 必要な児童生徒には、早目にインフルエンザワクチン接種の予約をするよう案内をすること

##### ○教職員のキャリア形成や心身に寄り添った支援の強化

- ・ 初任者研修に資する機会を創出すること
- ・ 力量形成のための研修機会を創出すること
- ・ コロナ疲れが見られる教職員へのケアに努めること

##### ○その他

- ・ 児童生徒の成長に必要な学校行事等を、可能な限り実施できるよう支援すること

以上